

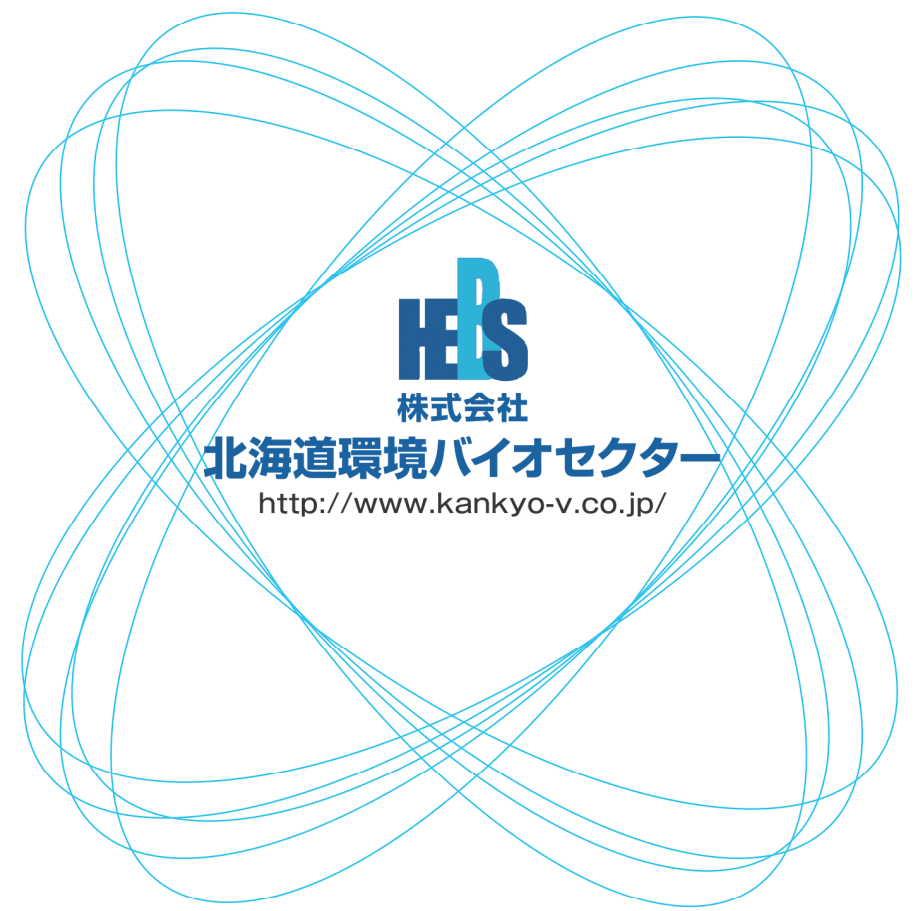
Biotechnology Ecology Design
Local Rice bran
Science Transfer Opinion
World Reuse Communication
Recycling Chemistry Sea
Function Public
Universe Collaboration
Society
Art Human beings
Environment
Vision Recognition
Planet Community
Edit Earth
Symbiosis Starfish
Global Culture



• Hokkaido Environment Bio Sector Co.,Ltd.

Hokkaido Environment Bio Sector

Company profile



EBS
株式会社
北海道環境バイオセクター
<http://www.kankyo-v.co.jp/>

未知なるメカニズムへの探求

自然界には私たちの想像をはるかに超えた数々の“仕組み”が施されています。

北海道環境バイオセクターでは、ヒトデに仕込まれた潜在パワーを強く引き出し、バイオ技術を用いて、さまざまな製品開発に取り組んでいます。

はじめに

環境汚染が地球規模で深刻になっている今、人にも自然にもやさしいエコ製品の開発が叫ばれています。わたしたちの会社では15年前、酵母菌を成分とした発酵資材「リブランド菌」の開発により完全なリサイクル型の廃棄物処理を可能にしました。食品加工場や畜産農家などから排出される様々な廃棄物を、四季に左右されることなく、完熟型の堆肥化実現に成功しました。これらの製品は、化学物質で汚染され続けた地球の、再生に結びつける事業の一助であり、積極的に開発、製品化を進めてゆく方針です。また、「海の厄介者」として嫌われ続けてきたヒトデ。そのヒトデを含む海洋生物から抽出したエキスは、わたしたちの手により様々な忌避製品として産声をあげました。それがカラス・ネズミ・ゴキブリ・アリの忌避剤と滅臭剤です。

わたしたちのバイオ事業は、リサイクル製品の開発にとどまることなく、各研究機関とのタイアップにより、医薬の分野である白癬菌（対水虫用）に対応する試作までこぎつけています。製品として提供できる日も、そう遠い話ではありません。

地球の再生が急務になっている21世紀に、わたしたちの事業は、これからも「地球への恩返し」をモットーにエコ事業の推進に全力をあげてまいります。

Company profile

On behalf of "Hokkaido Environment Bio Sector Co.", it is a greatest pleasure for me to introduce our business. I think that environmental pollution becomes serious on a global scale, development of the human-kindly eco product should be demanded.

Fifteen years ago, our company established a complete recycling system by the development of fermentation product "Lib land yeast" that assumed yeast an ingredient enabled the waste disposal treatment.

"Lib land yeast" can produce the composting of the full ripeness type without being controlled temperature from various waste drained from food processing ground or the cattle farmer in the full seasons. I believe that our products and business model are able to contribute the reproduction of the earth which continued being polluted with a chemical substance, and I would like to push forward development of the products positively. In addition, our bio-business manages to reach it until trial manufacture to sterilize Trichophyton (fungi cause of athlete's foot) which is a pharmaceutical field by the tie-up with various research organizations. I can provide it as a medical product soon.

In the 21st century when the earth reproduction should be demanded rapidly, our business will make possible effort for promotion of the eco-business in a motto by "the repayment of favor to the earth".

会社概要

代表取締役 取締役会長 技術顧問 科学顧問 所在地	株式会社 北海道環境バイオセクター 三國 康二 西本 美嗣 古川 忠康 (元協和発酵工業株式会社、農学博士) 佐藤 謙一 (元第一三共株式会社創業研究所長) 〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西19丁目 サンタの館医大前	
設立 資本金 電話番号 ファクシミリ番号 URL 電子メール 従業員 取引銀行	2002年10月 1,000万円 011-640-5288 011-640-5289 http://www.kankyo-v.co.jp/ info@kankyo-v.co.jp 8名 三菱東京UFJ銀行、北洋銀行	代表取締役 三國 康二
主な取引先	(株)東急ハンズ新宿店・名古屋店・アネックス店・札幌店・三宮店、(株)五連サポート、函館水産卸売り市場、JAあづみ、九州電気システム(株)、西日本電気テック(株)、中部電力(株)、日本安全産業(株)、全国家畜安全資材普及協議会、(株)シー・アイ・シー、(有)エコテクノベース、三重県松阪食肉公社、農家、酪農家、三次ピオーネ生産組合、日本振興(株)	

沿革

- 2001年 4月 函館市にて魚の残さ発酵・分解実験
- 2002年 3月 紋別郡雄武町にて「ヒトデ処理」開始
- 2002年 4月 ホタテ処理の共同実験開始
- 2002年10月 (有)北海道環境バイオセクター設立
- 2002年12月 岩手県内水面技術センターでのニジマス処理の実験
- 2003年 5月 上川郡美深町にて牛糞堆肥の発酵・分解実験。4日目には発酵熱70度で処理成功
- 2004年 3月 (株)八戸マリン商会とのタイアップで「バイオボックス」(発酵・分解処理機)完成
- 2004年 5月 北海道更別農業高等学校にて「ヒトデ肥料」の果菜類の生育による糖度実験開始
- 2005年 7月 ひやま漁業協賛地内にてイカゴロ・ウニ殻の発酵実験、水産新聞に記事掲載
- 2005年10月 札幌市西区から札幌市中央区に事務所移転、有限会社から株式会社となる
- 2005年12月 「廃棄物処理の処分課程」の資格取得
- 2006年10月 「ウニ殻とホタテのミミ」発酵処理実験終了(虻田町:水産加工場)
- 2006年12月 函館市湯の川にて牛糞処理の発酵処理開始
- 2007年 8月 札幌商工会議所会員登録
- 2007年 9月 「インド-ジャパン・バイオセクター」(ムンバイ:旧ボンベイ)魚発酵処理実験
- 2008年 1月 魔法のシート「SARABAカラスくん」販売開始
- 2008年 7月 紋別市にてヒトデ処理堆肥化
- 2009年 2月 バイオ技術で開発した「白癬菌」(水虫)の有効液の検証
- 2009年 6月 東京事務所開設(東京都世田谷区桜上水)
- 2009年 6月 AUSTRALIA企業:Bird Gard社と「SARABAカラスくん」取引開始
- 2011年 8月 合同会社エスディバイオセクター設立(製品の販売及び施工会社[大阪・札幌])
- 2011年10月 「SARABAごきぶり・ネズミ」ゲル化剤の販売開始
- 2011年10月 消臭シートの販売開始
- 2011年10月 「ねずみ」「ごきぶり」用、忌避シートの販売開始
- 2011年10月 資本金を1,000万円に増資

企業理念

■お客様に対して誠実であり続けること。

■商品の更なる改良・工夫を追求する。

■誰もが豊かに暮らせるための製品作りをめざしていく。

株式会社北海道環境バイオセクターはこれらの事項を追求していきます。